



2012～2013 年度 ROTARY CLUB OF TOYOKAWA HOI CLUB WEEKLY

やらまいか

例会日/毎週火曜日 12:30 例会場/豊川商工会議所

会長/高桑 耐 幹事/大木健市 会報委員長/池田 弘

事務局/豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889

HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

クラブテーマ: ENJOY ROTARY 絆、みんな仲良く、クラブの未来へ

本年度第15回 通算1269回 平成24年10月16日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	10/2 修正出席率
		57名	39名	58%	92.2%

ゲスト: 米山奨学生 ヴィン君 ビジター: 小嶋和四郎さん (豊橋ゴールドン RC)

★会長あいさつ

高桑 耐会長



こんにちは。 やっと涼しく なりまして、 食べ物とお酒 の美味しくなる 時期になりましたので、 お酒の話をし

ます。最近、ヨーロッパ、アメリカ、東南アジアなどいろいろな国で日本酒の人気が出るようになりました。理由の一つは日本料理に人気があり、それに合う飲物として日本酒が人気になっています。もう一つ人気なのは冷酒です。冷酒は、ヨーロッパやアメリカでは、一流なホテル、一流なシェフが色んな料理とマッチングを試しています。例えば、フランスでは、フォアグラ、トリフ、チーズ、生ハム、グラタン、パスタ、リゾット、パエリア、カルパッチョなどシーフードと肉料理に合わせた冷酒が飲まれています。日本の酒屋の社長とロンドンのワインのソムリエが作った「酒ソムリエ協会」が6年前に設立し、毎年、ロンドンの高級デパート「ハロッズ」で「ロンドン酒チャレンジ」が行われ、50種類の日本酒の試飲会が行われています。日本の伝統的な飲み物が、世界で流行っているという事は、嬉しく感じます。パリの2つ星ホテルで、フランス料理のコースで出された飲み物はすべて日本酒だったという記事や、オランダの皇族主催の食事会でも日本酒が出るようになったという記事も新聞にも載っていました。どのくらい日本酒の人气がでるのかわかりま

せんが、我々も美味しい食べ物と日本酒を楽しみましょう。

★幹事報告

大木健市幹事

例会臨時変更のお知らせ
被災高校生支援募金の報告

★委員会報告

東三河サーモンズ(代表の縦山晴也さん)
第1回東三河3on3大会支援のお願い

<https://sites.google.com/site/higashimikawasalm>
[ons/](https://sites.google.com/site/higashimikawasalm)



★米山奨学委員会担当

「米山奨学生とカボジア・ベトナムの現状」

小野喜明委員長&堀田卓嗣会員

こんにちは。本日は米山奨学委員会が担当させていただきます。米山奨学生を通じて米山奨学会を理解頂き、米山の趣旨に賛同頂きまして、米山奨学会の活動を支援して頂きたいと思

ご存知のように米山記念奨学会は外国人留学生を支援する民間最大の奨学団体です。1952年に米山梅吉の遺徳を讃える無形の金字塔にということで「米山基金」をつくって東京 RC から始まった事業です。ロータリー米山記念奨学会は、将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されています。年間で約 800 人、累計にすると 121ヶ国、17,028 人の外国人留学生を支援しています。

当クラブがカウンセラーをした奨学生は、1994-96年にフィリピンのデイ・クロムウェル・オリバー・サラザール君、1998-99年に中国の陳暉君、2000-02年に韓国の金鐘敏君、2003-05年にベトナムのフンク・ニユン・ドク君、2008-10年にベトナムのグエン・ヴァン・ハイ君、2011-12年にカンボジアのユン・サーヴン君、そして現在のベトナムのディン・ヴィン・ヴァン君の7名になります。

それで、ここ最近の奨学生の出身国のカンボジアとベトナムを知って頂こうと思います。先日、私の堀田君とでジェットロ主催のカンボジアとベトナムの視察をして来ましたので紹介します。

カンボジアとベトナムは東南アジア諸国に位置しています。カンボジアの人口は 1400 万人で 70%が 30 歳未満です。面積は日本の半分の 18 万㎡です。一人あたりの GDP は 814 ドルですが、経済成長率は 6.3%と非常に高い成長率です。今回企画の視察の定員 40 名で、すぐに定員に達したという事で、いかに日本の企業がこの地域に進出を考えているかが分かります。行った人は、製造業、サービス業もあり、大手もあり中小もありました。ベトナムの人口は 8800 万人で 80%が 40 歳以下です。面積は 33 万㎡で日本の九州を除く面積と同じです。一人あたりの GDP は 1,374 ドル、経済成長率は 5.8%とこちらも高いです。

東南アジア進出のラッシュの理由は、超円高、東日本大震災の影響、タイ洪水の影響、中小企業の進出数拡大、欧州金融危機、レンタル工場・小規模借地。各国の誘致競争激化になっています。

ベトナムの 3 つの都市の規模は、北部のハノイ市が約 670 万人で一人あたりの GDP が 2,043 ドル、中部のダナン市が約 95 万人で一人あたりの GDP が 1,184 ドル、南部のホーチ

ミン市が約 750 万人で一人あたりの GDP が 2,249 ドルです。中国と ASEAN 諸国の賃金比較ですが、マレーシアが一番高く、ベトナムは中国の半分以下です。ただベトナムやカンボジアには日本語のわかるマネージャークラスの人材が少なく、高い給料を払わないといけません。ミャンマーがさらに半分ぐらいになります。但し最低賃金は日本円で 8,000 円ですので、それ以下では雇えないのが現状です。ハノイは大企業中心に日系企業の建設ラッシュとなっています。レンタル工場として最低 360 ㎡でも貸しますということで中小企業の進出も多くなってきています。ホーチミン市近郊の工業団地として、VSIP とミーフックがあります。VSIP は、ベトナムの現地資本とシンガポール資本で開発しており、1,700ha もあります。ミーフックはベトナム単独の資本で開発しており、こちらは 6,000ha もあります。目指すはビンズン省という新都心建設と工業都市計画です。日本の東急電鉄との合弁による総合工業都市です。高速道路、役所、大学、病院、ショッピングモールなど住環境整備も進められています。今後のベトナムというのは ASEAN 諸国から見ても南にインドネシア、右にフィリピンがあり、ホーチミンはハブ化していくと思います。ですが共産党政権ですので、どこまで進むかまだまだ分かりません。

このように国際社会、海外への経済活動も米山奨学生などの親日の方がいないと進みません。米山の活動にご理解を頂きまして、今後ともご支援ご協力をよろしくお願いします。

★ニコニコボックス

小嶋和四郎さん メーキャップにきました
笠原盛泰会員 B-1 応援お願いします
縦山修一会員 3on3 ご支援お願いします
杉浦節子会員 誕生日を祝って頂き
滝下 勲会員 いろいろと祝って頂き

クラブ目標：会員増強純増	3名
クラブ目標：R財団寄付額	\$ 100/人
現在の状況	
会員増強	純増0名
R財団寄付額	\$ 0/人

会報担当者：池田 弘会員、杉浦元保会員
このウィークリーは再生紙を使用しています。